

持続可能な奉仕を可能にする神の奥義であるキリスト

「あなたがたとラオデキヤの人たちと、そのほか直接私の顔を見たことのない人たちのためにも、私がどんなに苦闘しているか、知ってほしいと思います。それは、この人たちが心に励ましを受け、愛によって結び合わされ、理解をもって豊かな全き確信に達し、神の奥義であるキリストを真に知るようになるためです。このキリストのうちに、知恵と知識との宝がすべて隠されているのです。」（コロサイ2:1-3）

1.働き人はただ神の奥義であるキリストだけを現さなければならない。

「時がついに満ちて、実現します。いっさいのものがキリストにあって、天にあるもの地にあるものがこの方にあって、一つに集められるのです。」（エペ1:10）

「キリストこそ私たちの平和であり、二つのものを一つにし、隔ての壁を打ちこわし、」（エペソ2:14）

- 1) 一番高い上から受けて、一番低いところまで（ローマ10:13）
- 2) 永遠の昔から受けて、永遠の未来へ（未来福音化）
- 3) ただ一つの所から頂いて、すべての所へ（世界福音化）

2.働き人がキリストを伝える方式は今の自分がキリストに満たされること

- 1) 伝道は天に上る、地の奥底に降る私の働きではない。

「しかし、信仰による義はこう言います。「あなたは心の中で、だれが天に上るだろうか、と言ってはいけない。」それはキリストを引き降ろすことです。また、「だれが地の奥底に下るだろうか、と言ってはいけない。」それはキリストを死者の中から引き上げることです。」（ローマ10:6~7）

- 2) 今、ここが宣教地、今の私がキリストの証人

「では、どう言っていますか。「みことばはあなたの近くにある。あなたの口にあり、あなたの心にある。」これは私たちの宣べ伝えている信仰のことばのことです。なぜなら、もしあなたの口でイエスを主と告白し、あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせてくださったと信じるなら、あなたは救われるからです。」（ローマ10:8~9）

- 3) 「キリストに満たされた今の私と私の生活の高さ、深さ、広さ、長さ」が私を通じた神様の宣教

3.働き人はどんな現実や反応、想定外の状況にも揺るぎなく、持続的に仕える、ただキリストの奥義がなければならない

- 1) 24時、私を囲んでいる神の国の背景
- 2) 24時、注がれ続ける十分、完全な聖霊の能力
- 3) 1) 2) によって個人化（私の哲学）、具体化（私のルーチン）、事実化（私の祈り応答）

すでに与えられている神の奥義であるキリストの名（=天国の鍵）によって約束された知恵と知識の全ての宝を持続的に頂く時に、持続的に魂に仕えることができる（救い、共に歩み、同じ方向へ進む）。

